

【資料編】

資料 1 魅力と防災を考える町並み探検会の成果

資 1.1 企画の概要

伝建地区を散策して、いつも何気なく暮らしているまちの防災対策や避難について考えたり、魅力を再発見した。ワークショップでは、防ぐことができる災害で、なおかつひとたび起こってしまうと周囲に影響を及ぼす恐れのある火災と、まずは自分の身を守るための避難に着目して地域の住民間で議論する機会をつくった。

第5回 てんげん 交流会

魅力と防災を考える町並み探検会

伝統的建造物群保存地区を散策して、いつも何気なく暮らしているまちの防災対策や避難について考えたり、魅力を再発見します。

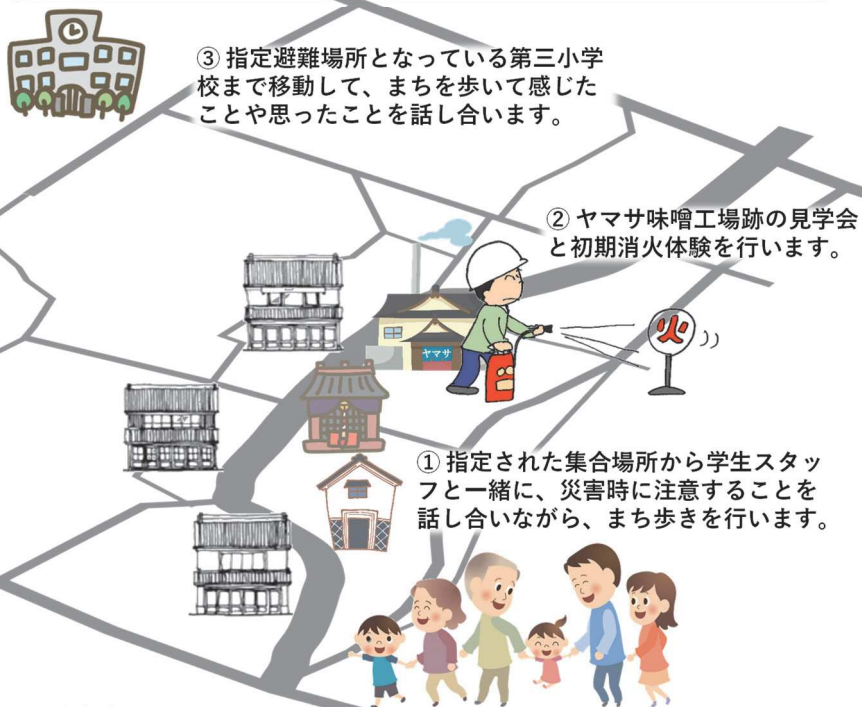
日 時：平成29年11月18日(土) 13:00～17:00

集 合 等：13時に伝建地区内の集合場所に集合いただきます。

◎集合場所は、地震等を想定し、一次避難として伝建地区内の空き地等に集合いただきます。後日、参加者の方に通知します。

場 所：嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内、第三小学校音楽室

申込方法：11月8日(水)までに、自治会長様または下記問合せ先に氏名・住所・年代をお知らせください。



～注意事項～

1. 当日は動きやすい服装と靴でご参加ください。
2. 味噌工場跡地内など一部危険な場所もありますので、スタッフに指示に従って行動をお願いします。

■問合せ・申込先：栃木市総合政策部蔵の街課(担当:森崎) TEL:0282-21-2571

資 1.3 避難方法や火災予防に関する参加者からの意見

指定避難所までの避難方法や火災を防ぐためにできることについて、各グループで挙げられた提案や意見を以下に示す。

	指定避難所まで どうやって避難する？	火災を未然に防ぐためにできること。 起こってしまっても 延焼を拡げないためにできること。
大町 A班	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病人等避難× → 栃ノ木病院 ・ 避難時、大通りを通るのは危険!! 大通りより北の人は病院へ ・ 落ち着いたら第三小へ ・ 一時避難→みんなで集まって避難 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火元から離れない ・ コンセントのホコリに注意 ・ コロンの場合、近くの水道で消す。 ・ 119番通報 ・ 火災報知器の設置 ・ 火災発生後、すぐに消防署へ通報→避難 ・ 火の始末 ・ 家電製品の周りのホコリの掃除 ・ 初期消火 ・ 通報 ・ 再度のチェックをする ・ 消火器等の設置 ・ 整理整頓 ・ 火の元を細めにチェック ・ 火災について正しい知識を身につける ・ 日頃から、火災の原因をなくす（ガスの元栓の閉め忘れ、電気ストーブ等の電源の確認） ・ 一時消火と早急な通報
大町 B班	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震の場合 第三小へ避難 ・ 水害の場合 栃木消防署 アイム 大町公民館へ避難 ・ 益子味噌跡地 完成待ち！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家電等の電源をぬく。ホコリに注意 ・ たばこの吸う場所を守る ・ 燃えるごみの始末 屋外に置かない ・ 風呂の水を抜かない ・ 初期消火 ・ 消火器を点検し、使えるようにする ・ 風呂水は入れておく ・ 未然に防ぐ ・ 燃えやすい物は置き場所を決めておく ・ 常にガスコンロの使用後を確認する ・ 消火器、警報機を用意する ・ タコ足配線 ・ タコ足配線をなくす ・ 燃えるごみを外に置かない ・ 風呂水は残しておく ・ 火の後始末 ・ 消火器の設置 ・ コンセントを抜く

	<p style="text-align: center;">指定避難所まで どうやって避難する？</p>	<p style="text-align: center;">火災を未然に防ぐためにできること。 起こってしまっても 延焼を拡げないためにできること。</p>
<p style="text-align: center;">大町 C班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間は閉まっているかも ・ 健康な人の確保 ・ 体が不自由な方は助け合わないといけない ・ 班内安全箇所空地への避難 ・ 空地の利用 ・ 若い人は第三小へ その他は大町公民館や近くの空地へ ・ 近くの空き地等に避難して合流しながら指定避難場所 ・ 避難所大町公民館 ・ 各区、班内での声をかけ合う ・ 徒歩で避難 足の不自由な方をどうするか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風呂に水をためておく ・ 防災意識を持つ ・ 燃えやすい物を置かない ・ 火から目を離さない ・ 過信しない ・ 消火確認する ・ 火のそばから離れない ・ 火を使っていたら離れない ・ 消火器を近くに置く ・ あわてず119番へ ・ 指差し点検の習慣 ・ 消火器
<p style="text-align: center;">嘉右衛門町 D班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の家の近くの広場に一時的に避難して、点呼、近所の人達の安全を確認。それから第三小等の指定避難場所へ避難所に避難 ・ 水害の時は、ヤオハンか自分の家の2Fに避難（第三小は被害を受ける） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火を使用する時はその場から離れない ・ コンセントは必ず抜く ・ 湯船には水をためておく ・ 防火シートをガス台のそばにおいてあり、火が出た時にそのシートを上からかぶせる様準備してある ・ 電源のスイッチを切る ・ ガスの元栓を切る ・ ストープの消し忘れ ・ お風呂に水をためておく ・ ガスを使っているときにはそばを離れない ・ 火のそばには、燃えやすい物は置かない ・ 消火器の点検をおこたらぬこと ・ 近所の人とのコミュニケーションをする（老人と身体の人がいるため） ・ 燃えやすい物は火のそばに置かずに整理整頓しておく ・ 料理をして火から離れない様に外すときは元栓締め ・ 自分の家の火元の始末をきちんとする ・ 他の家の出火に気づいたらすぐに周りの人に大声で知らせる ・ 防火用水として風呂は夕方まで抜かない

	指定避難所まで どうやって避難する？	火災を未然に防ぐためにできること。 起こってしまっても 延焼を拡げないためにできること。
嘉右衛門町E班	<ul style="list-style-type: none"> ・一時避難 ・自分、家族、近所 安否確認 ・とにかく身の安全 自分 家族 ・一日どうにか生きる 	<ul style="list-style-type: none"> ・タコ足配線はしない ・コンセントのホコリ除去 ・初期消火につとめる ・消火器用意 ・防火の準備 バケツ 消火器 ・着物は体にぴったりのもを着る ・燃えるものをまわりに置かない ・かまどの近くに水（バケツを置く） ・常に火気に注意する ・常に消火関係の器具を用意しておく ・たき火etc余計な火は使わない ・常に気にして考える ・時々練習をする ・起きてしまったら身を守る ・消火器の準備 ・寝たばこの禁止 ・防火訓練
泉町F班	<ul style="list-style-type: none"> ・析銀の駐車場 ・旧長谷見空き地→大通り→交番 ・交番の裏（トイレがある）→東中 	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器早く使用する事 ・近隣へ叫ぶ（火災が起きてから） ・大声で他人に知らせる ・119番通報する ・初期消火で火を消す ・風呂の水をためる ・裏の井戸をすぐに使えるように準備する （ホースは長い） ・料理終了と同時にガスの元栓を閉めている

資料2 でんけん交流会の概要と様子

伝建地区における行政や地域の取り組みについて、地域住民と行政及び教育研究機関、職人などが意見を交わし認識を共有することを目的に、平成28年から定期的にでんけん交流会を開催している。これまでの実施概要については、下記のとおりである。

● 第1回 平成28年5月31日（火）

テーマ：伝建地区を護る防災と職人

場 所：神明神社社務所

参加人数：38名

概 要：

- ・近年の地震被害から学ぶ対策（小山工業高等専門学校准教授・横内基）
- ・地域を護る職人たちの使命（とちぎ蔵の街職人塾塾長・山本兵一）
- ・伝建地区を護るための備え（栃木市総合政策部蔵の街課）
- ・嘉右衛門町伝建地区の防災を考える（地域の皆さん）
- ・意見交換



● 第2回 平成29年1月10日(火)

テーマ：嘉右衛門町町並み再考ワークショップ～町並みの現状～

場 所：神明神社社務所

参加人数：32名

概 要：

- ・ 目指す町並みデザインの主旨、伝建制度について（栃木市総合政策部蔵の街課）
- ・ 現在の嘉右衛門町の現状分析について（東京都市大学・堀場弘教授、堀場研究室）
- ・ 町並みデザインの課題の抽出作業（東京都市大学堀場研究室と地域の方々）
- ・ 講評（小山工業高等専門学校・横内基、とちぎ蔵の街職人塾塾長・山本兵一）



● 第3回 平成29年3月28日(火)

テーマ：嘉右衛門町町並み再考ワークショップ～町並みの現在と未来～

場 所：栃木市役所3階正庁

参加人数：29名

概 要：

- ・ 目指す町並みデザイン提案（東京都市大学堀場研究室）
- ・ 地域の皆さんとの意見交換
- ・ 目指す町並みデザインの活用について（栃木市総合政策部蔵の街課）
- ・ 講評（小山工業高等専門学校・横内基、とちぎ蔵の街職人塾塾長・山本兵一）



● 第4回 平成29年5月31日（水）

テーマ：嘉右衛門町伝建地区の防災計画策定

場 所：神明神社社務所

参加人数：33名

概 要：

- ・「平成29年度 嘉右衛門町伝建地区防災計画」策定について
(栃木市総合政策部蔵の街課)
- ・「平成28年度 防災計画策定に係る調査業務」調査結果について
(小山工業高等専門学校准教授・横内基)
- ・地域の防災に関する意見交換



● 第5回 平成29年11月18日（土）

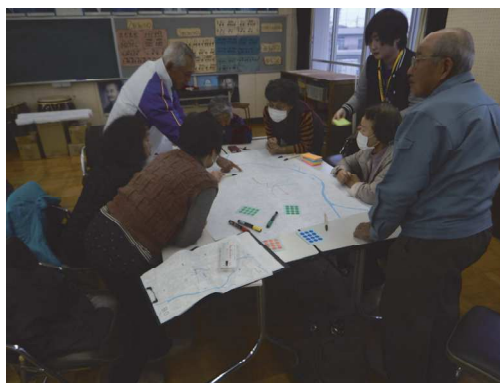
テーマ：魅力と防災を考える町並み探検会

場 所：伝建地区周辺、旧ヤマサみそ製造工場、栃木第三小学校音楽室

参加人数：58名

概 要：伝統的建造物群保存地区及び文化財周辺の地域住民の防災意識の高揚を図るため、伝統的建造物群保存地区を散策して、いつも何気なく暮らしているまちの防災対策や避難について考え、魅力を再発見することを目的に以下の内容を実施した。なお、成果については、資料1を参照されたい。

- ①地震等を想定し、一時避難として伝建地区内の空き地等に集合。
- ②指定された集合場所から学生スタッフと一緒に、災害時に注意することを話し合いながら、まち歩きを行う。
- ③ヤマサ味噌工場跡の見学会と初期消火体験（水消火器）を行う。
- ④指定避難場所となっている栃木第三小学校まで移動して「まちを歩いて感じたことや思ったこと」を話し合う。
- ⑤各班で「まちを歩いて感じたことや思ったこと」を、白地図にまとめ、発表を行う。



● 第6回 平成30年2月4日(日)

テーマ：嘉右衛門町伝建地区防災計画と嘉右衛門町重伝建地区味噌工場跡地保存活用計画の素案について

場 所：神明神社社務所、ヤマサ味噌工場跡地

参加人数：23名

概 要：

- ・「嘉右衛門町伝建地区防災計画（素案）」について
- ・「嘉右衛門町重伝建地区味噌工場跡地保存活用計画（素案）」について
- ・現地説明（嘉右衛門町重伝建地区味噌工場跡地）
- ・意見交換



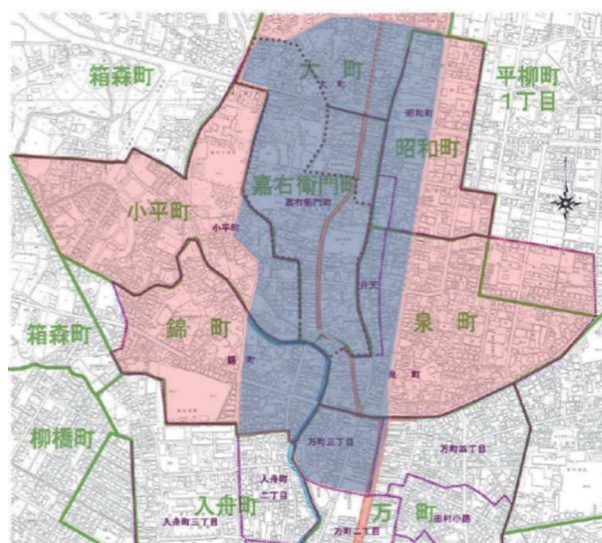
資料3 地域防災力に関する住民アンケートの概要

資 3.1 アンケート調査の主旨

伝建地区では、地域固有の歴史資産を永続的に保存していかなければならない一方で、細街路や古い木造家屋が多いことや、少子高齢化の進行など、安全安心な暮らしを維持する上で不安な面もある。また、伝建地区周辺では、平成 23 年の東日本大震災以降も竜巻や水害、大規模な火災などの多様な災害が発生しており、地域住民の災害に対する意識も刻々と変化していると思われる。こうした地域では、住民の災害意識や地域の防災力を把握し、それに即した対策を図っていくことが望まれる。そこで、伝建地区周辺の居住者もしくは事業者を対象とするアンケート調査を実施し、災害時に有機的に機能し得る地域の繋がりや、住民の対応力、家屋の脆弱性などの地域の防災力をアンケート調査結果に基づき分析する。

資 3.2 アンケート対象エリア

伝建地区周辺は、歴史的建物が地区内にのみ集積しているわけではなく、伝建地区を中心にその周辺にも多く現存しており、歴史的町並みと現代の市街地が接している状況である。また、町界と自治会境界が異なるところもあり、伝建地区の境界がそれらと一致しているわけでもない。そのため、既存の地域コミュニティは伝建地区の境界とは異なる範囲で形成されていると考えられ、伝建地区内だけで防災計画を完結させることは現実的に難しく、周辺地域も含めた総合的な計画づくりが望まれる。そこで、本調査は伝建地区またはそこに近接する嘉右衛門町と弁天、万町三丁目の全域と、泉町、大町、小平町、錦町、昭和町の一部地域に居住する約 700 世帯に対してアンケート調査を実施した。付図 3.1 の紫色で示す範囲に属する自治会の班を対象に実施した。



付図 3.1 アンケート対象地域

資 3.3 アンケートの配布・回収方法

アンケートは自治会長から各班長に班員分を渡し、班長から各家庭に配布して頂いた。また、回答用紙は厳封して各班長に提出して頂き回収した。また、小山工業高等専門学校横内研究室と早稲田大学長谷見研究室では、科学技術振興機構による「伝統的建造物群保存地区における総合防災事業の開発」プロジェクトの一環として、平成 25 年に同じエリアを対象にアンケート調査を実施しており、そこでは災害に対する意識や建物の構造などについての回答を得ている。そこで、平成 28 年に実施するアンケートでは、災害意識に関して平成 25 年と同じ設問を設け、火災や水害を経験した後の意識の変化を把握することとする。さらに、平成 25 年のアンケートの内、集計及び分析が行われていなかった建物の構造に関する回答を用いて家屋の耐震性に関する総体的な傾向を考察し、それらを総合して地域の防災力を分析した。付表 3.1 にアンケートの概要を付表 3.2 に自治会別の配布・回収状況を示す。

付表 3.1 アンケート実施期間及び配布・回収状況

実施期間	平成25年10月11日までの2週間	平成28年11月30日までの2週間
調査主体	『伝統的建造物群保存地区における総合防災事業の開発』研究開発プロジェクト/ 栃木市教育委員会	小山工業高等専門学校横内研究室/ 栃木市総合政策部蔵の街課重伝建係
調査対象地域	大町自治会*、昭和町自治会*、泉町自治会*、弁天自治会*、 嘉右衛門町自治会、小平町自治会*、錦町自治会*、万町3丁目自治会	
配布数	669	682
回収数	446	577
回収率	67%	85%

*の自治会は伝建地区に近接する班のみ実施

付表 3.2 自治会別の配布・回収状況

	万町3丁目自治会	嘉右衛門町自治会	弁天自治会	小平町自治会	大町自治会	昭和町自治会	錦町自治会	泉町自治会	全体
配布数	70	208	40	43	116	25	63	117	682
回収数	43	178	34	39	111	19	49	104	577
回答率	61.4%	85.6%	85.0%	90.7%	95.7%	76.0%	77.8%	88.9%	84.6%

資 3.4 アンケート設問

配布したアンケートを次頁以降に示す。

アンケートご記入のお願い

～地域防災に関する実態調査～

秋冷の候、皆様にはますますご健勝のことと存じます。

栃木市では、平成 29 年度に嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の防災計画の策定を予定しており、平成 28 年度はそのための調査等を小山工業高等専門学校横内研究室と共に進めております。

東日本大震災や関東東北豪雨、その他にも火災など様々な災害に近年見舞われていますが、その中で住民の皆様の防災に対する意識や日常生活についてお伺いしたく、アンケート調査を実施することとなりました。アンケート調査の結果については、皆様にご報告するほか、伝建地区およびその周辺における暮らしをより安全安心にするための防災計画にも役立てられます。

お忙しいところお手数ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、ご記入いただいた個人情報は防災計画のみに使用し、他での使用は一切いたしません。

●アンケート調査主体

- ・小山工業高等専門学校横内研究室
- ・栃木市総合政策部蔵の街課重伝建係

●アンケート調査協力

- ・大町々内会、昭和町々内会、泉町々内会、弁天町内会、嘉右衛門町々内会、小平町々内会、錦町々内会、万町三丁目町内会

●アンケートを記入していただく方

- ・世帯主、またはそれに代わる家族の主たる方
- ・アンケート対象地域内の事業所や店舗の場合はその責任者の方
- ・同居されている家族の中で最高齢の方

●アンケートの方法

- ・記入方法 : 黒ペンか鉛筆でご記入下さい。
- ・提出期限 : **平成 28 年 11 月 30 日 (水)**
- ・提出方法 : 上記の期限までに班長様経由で自治会長様にご提出ください。

●アンケート調査に関するご質問の問い合わせ先

- ・栃木市総合政策部蔵の街課重伝建係 担当：横倉
電話：0282-21-2571 E-Mail:denken@city.tochigi.lg.jp
- ・小山工業高等専門学校 建築学科 横内基
電話：0285-20-2837 E-Mail : yokouchi@oyama-ct.ac.jp

ここからは、次の方が回答をお願いします。

- 世帯主、またはそれに代わる家族の主たる方
- 事業所や店舗の場合は、その責任者の方

問 01 回答されている方の性別と年齢をお答えください。

男性 ・ 女性	歳
---------	---

問 02 アンケートが配布されたお住い（または事業所・店舗等）は、伝統的建造物群保存地区のエリア内ですか？ 適当なものに○を付けてお答えください。

はい	いいえ	わからない
----	-----	-------

問 03 ご自身も含め、お住まいの方の人数を年齢別に下記に記入してください。

- ① 0～4 歳（男性 名、女性 名） ② 5～14 歳（男性 名、女性 名）
③ 15～24 歳（男性 名、女性 名） ④ 25～34 歳（男性 名、女性 名）
⑤ 35～44 歳（男性 名、女性 名） ⑥ 45～54 歳（男性 名、女性 名）
⑦ 55～64 歳（男性 名、女性 名） ⑧ 65～74 歳（男性 名、女性 名）
⑨ 75 歳以上（男性 名、女性 名）

問 04 お住まいの方で、自宅から徒歩や自転車で通える範囲に通勤・通学されている方の人数を年齢別に下記に記入してください。

- ① 0～4 歳（男性 名、女性 名） ② 5～14 歳（男性 名、女性 名）
③ 15～24 歳（男性 名、女性 名） ④ 25～34 歳（男性 名、女性 名）
⑤ 35～44 歳（男性 名、女性 名） ⑥ 45～54 歳（男性 名、女性 名）
⑦ 55～64 歳（男性 名、女性 名） ⑧ 65～74 歳（男性 名、女性 名）
⑨ 75 歳以上（男性 名、女性 名）

問 05 お住まいの方以外で、敷地内で働かれている方がいましたら、その人数を年齢別に下記に記入してください。

- ① 0～4 歳（男性 名、女性 名） ② 5～14 歳（男性 名、女性 名）
③ 15～24 歳（男性 名、女性 名） ④ 25～34 歳（男性 名、女性 名）
⑤ 35～44 歳（男性 名、女性 名） ⑥ 45～54 歳（男性 名、女性 名）
⑦ 55～64 歳（男性 名、女性 名） ⑧ 65～74 歳（男性 名、女性 名）
⑨ 75 歳以上（男性 名、女性 名）

問 06 同居していないご親族で、相談できたり、定期的に訪問し合うような方はいますか？「はい」の方は、往来時の手段とおよその所要時間をお答えください。

はい	いいえ
[車 ・ 徒歩 ・ その他()]で、[]分ぐらい。	

問 07 あなたの家にあるものに○を付けてください。(複数回答可)

たばこ	火災警報器	灯油ストーブ	たこ足配線
消火器	防災マップ	ライター(マッチ)	ガスコンロ
エアコン	IHコンロ	がいしを使った電気配線	漏電遮断器付きブレーカー
感震ブレーカー	車いす	井戸	伝建ガイドライン

問 08 毎週のように日用品や食料品を買い物に行くお店に○を付け、その交通手段を教えてください。記載の店舗以外にある場合は、空欄に記入してください。

ヤオハンやその周辺の店	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
東武百貨店	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
イオン栃木	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
泉町のセブンイレブン	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
倭町周辺の商店	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
祝町のヨークベニマルやその周辺の店	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
平柳町のヨークベニマルやその周辺の店	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
大平町のカインズモールやその周辺の店	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ その他 ()

問 09 次の中で参加したことがある地域活動の参加者と参加頻度について、適当なものに○を付けてください。上記以外に参加したことがある地域活動がありましたら、空欄に記入してください。

地域活動	参加者	参加頻度
町内会総会	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
町内会主催の親睦行事	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
育成会	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
敬老会	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
防災訓練	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
町内会の清掃活動	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
巴波川清掃	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
伝建地区クリーン作戦	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
伝建地区町並み塾	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
歴史文化勉強会	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
神社の例大祭	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
秋祭り	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
夏祭り	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
クラモノ	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ
	自身・家族の誰か・家族の複数	いつも・たまに・一度だけ

問 10 家族や親交がある方との連絡手段に○を付けてください。(複数回答可)

対面による会話	手紙	携帯電話	固定電話
メール	LINE	ツイッター	
その他 ()			

問 11 お住まいの『向こう三軒両隣』は顔見知りですか？

はい	いいえ	わからない
----	-----	-------

問 12 建物の日常的な点検や修繕などを相談できる職人や建築業者はいますか？

はい	いいえ	わからない
----	-----	-------

問 13 皆さんは、古い建物が多く残り、「蔵の街」と呼ばれている町並みの中で生活されています。次の項目について、生活されている地域の印象として相応しいものに○を付けてください。

項目	全くその通り	—	まあ思う	—	どちらでもない	—	さほど思わない	—	一切思わない
魅力的に思う	1	—	2	—	3	—	4	—	5
古い町並みを残したい	1	—	2	—	3	—	4	—	5
誇りに思う	1	—	2	—	3	—	4	—	5
周りに親切な人が多い	1	—	2	—	3	—	4	—	5
暮らしやすい	1	—	2	—	3	—	4	—	5
火災に強い	1	—	2	—	3	—	4	—	5
地震に強い	1	—	2	—	3	—	4	—	5
水害に強い	1	—	2	—	3	—	4	—	5
防災対策は十分である	1	—	2	—	3	—	4	—	5

問 14 防災について心配なことは何ですか？次の中から心配な順番に3つ選び、番号を回答欄に記入してください。その他の場合は、カッコ内に内容をご記入ください。

- ①大規模な火災の発生
- ②地震時の建物倒壊
- ③台風や豪雨などの風水害
- ④災害時の避難
- ⑤被災後の避難生活
- ⑥空き家の割合が多くなってきている
- ⑦特に心配な点はない
- ⑧その他 ()

1 番	2 番	3 番
-----	-----	-----

問 15 この地域で早急に対策すべきだと思う順番に3つ選び、番号を回答欄に記入してください。その他の場合は、カッコ内に内容をご記入ください。

- ①火災の早期発見のため警報装置の設置
- ②火災拡大を抑制するための消火栓の整備
- ③地震対策のために構造補強
- ④台風や豪雨等の際に起こりうる水害対策
- ⑤竜巻発生時の情報周知方法などの対策
- ⑥避難場所・避難経路の整備など、避難安全性を高めるための対策
- ⑦災害の危険・避難場所等を知らせる非常放送・情報網などの整備
- ⑧地域住民による自主防災活動
- ⑨その他 ()

1 番	2 番	3 番
-----	-----	-----

問 16 ご家族で災害時の避難について話し合われたことはありますか？適当なものに○を付けてお答えください。また、「はい」の方は、その具体的な内容も教えてください。

はい	いいえ
----	-----

(具体的な内容)

問 17 防災訓練があつたら参加しようと思いますか？適当なものに○を付けてお答えください。

はい	いいえ
----	-----

問 18 自宅やその周囲で火災が起きた時、あなたは次のどのような消火活動が可能ですか？可能なものに○を付けてお答えください。（複数回答可）

消火器	水バケツ	可搬消火ポンプ	消火栓
水道やホース	119 番に通報	消火はできないが一人で避難	どれもできない

問 19 自宅で火災が起きた時、まず何をしますか？次の中から 1 番目から 3 番目まで選び、その枠内に番号を記入してください。その他の場合は、カッコ内に内容を記入してください。

火を消す	助けを呼ぶ	119 番に通報する	避難する
その他（ ）			

問 20 2011 年に東日本大震災を経験しました。今年は熊本でも大きな地震がありました。こうした状況の中で、何か地震に対する対策を行いましたか？適当なものに○を付けてお答えください。

はい	いいえ	過去に実施
----	-----	-------

問 21 問 20 の回答について、その理由や対策内容をお聞かせください。

（理由や対策内容）

問 22 自宅の中で地震が起きた時、まず何をしますか？ 1 番目から 3 番目まで選び、その枠内に番号を記入してください。東日本大震災を経験した方は当時を思い出してお答えください。その他の場合は、カッコ内に内容を記入してください。

ガスを止める	机の下などで揺れが落ち着くまで待つ	ブレーカーを切る	建物の外に出る
窓やドアを開ける	家族を確認する	地震速報を見る	どれもできない
その他（ ）			

ここからは、
「同居されている家族の中で最高齢の方」
が回答をお願いします。

※最高齢の方ご自身による記入が困難な場合は、代理の方がご本人の意思を十分に確認したうえで代筆してください。

問 30 性別と年齢をお答えください。

男性 ・ 女性	歳
---------	---

問 31 家に一人でいることがありますか？適当なものに○を付けてお答えください。

はい	いいえ
----	-----

問 32 次の中から頼りにしている情報源を選び、○を付けてください。その他の場合は、カッコ内に内容を記入してください。（複数回答可）

テレビ	ケーブルテレビ	ラジオ	新聞
携帯電話	インターネット	SNS	ご近所との会話
その他（ ）			

問 33 携帯電話を持っていますか？適当なものに○を付けてお答えください。

はい	いいえ
----	-----

問 34 日常的に自分でできるものに○を、できないものには×を付けてください。

買い物	洗濯	掃き掃除	掃除機で清掃
雑巾掛け	車の運転	米袋を運ぶ	料理
台に乗って 物をとる	和式トイレの 使用	ゴミ出し	庭の枝おろし

問 35 どのくらいの頻度で外出しますか？適当なものに○を付けてお答えください。その他の場合は、カッコ内に頻度を記入してください。

毎日	週に4～5日	週に2～3日	月に2～3回
めったに 外出しない	その他（ ）		

問 36 日頃の主な外出について、その目的と、そこまでの移動手段とおよその所要時間を教えてください。目的については、吹き出しの中の該当する番号を記入してください。

- | | | | |
|-----------|------------|--------|---------|
| 1 : 買い物 | 2 : 趣味・習い事 | 3 : 食事 | 4 : 仕事 |
| 5 : 友人と会う | 6 : 娯楽 | 7 : 散歩 | 8 : その他 |

目的	移動手段	所要時間
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バス ・ その他	約 分
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バス ・ その他	約 分
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バス ・ その他	約 分
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バス ・ その他	約 分
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バス ・ その他	約 分
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バス ・ その他	約 分
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バス ・ その他	約 分
	徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バス ・ その他	約 分

問 37 一人で家にいる時に緊急事態が起こった場合、まず誰に助けを求めますか。

隣近所の人	同じ町内の人	親族	救急・消防・警察
外出中の家族	わからない	その他 ()	

問 38 毎日、その周辺まで歩いて行く所がありましたら○を付けてください。(複数回答可)

ヤオハン	イオン	第三小学校	中央小学校
東中学校	東武百貨店	神明神社	総合運動公園
銀座通り	新栃木駅	栃木駅	万町交番

問 39 週に1度程度、その周辺まで歩いて行く所がありましたら○を付けてください。
(複数回答可)

ヤオハン	イオン	第三小学校	中央小学校
東中学校	東武百貨店	神明神社	総合運動公園
銀座通り	新栃木駅	栃木駅	万町交番

問 40 楽に歩いて行けると思う所がありましたら○を付けてください。(複数回答可)

ヤオハン	イオン	第三小学校	中央小学校
東中学校	東武百貨店	神明神社	総合運動公園
銀座通り	新栃木駅	栃木駅	万町交番

問 41 頑張れば休まずに歩いて行けると思う所がありましたら○を付けてください。
(複数回答可)

ヤオハン	イオン	第三小学校	中央小学校
東中学校	東武百貨店	神明神社	総合運動公園
銀座通り	新栃木駅	栃木駅	万町交番

問 42 街の中で転んだ経験はありますか? 「はい」の方は、転んでしまった場所や原因を教えてください。

はい	いいえ
場所や原因：(例) 歩道の段差につまずいた。砂利道に足を取られた。	

アンケートは以上となります。

ご協力いただき本当にありがとうございました。

編 集	横内基（小山工業高等専門学校准教授） 栃木市総合政策部蔵の街課重伝建係
印 刷	有限会社印刷親友社
発 行	栃木市
発行年月	平成 30 年 3 月